

【島を訪れる、島に帰る】施策の柱42

①予算事業名	国際海洋資源・エネルギー活用推進事業	予算科目	2-1-10-24	基本構想上の位置づけ 上段：「島づくり目標」 下段：「施策の柱」	交流人口・移住定住人口の増大 交流文化の推進
②担当部課名	プロジェクト推進課	事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所	施策の柱42-5

③事業内容
 沖縄ハワイクリーンエネルギー協力協定(米国エネルギー省、日本経済産業省、ハワイ州、沖縄県、2010年締結)の下、2010年以来ハワイと久米島で毎年交互に開催されている海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップで、ハワイと沖縄の政府、学術研究機関、ビジネス間の連携を図る重要な機会となっている。
 今年のワークショップは2018年9月28・29日に開催を予定しており、海洋エネルギーをキーワードとした再生可能エネルギー・経済開発・エネルギー教育・環境分野における両地域の協力と共同プロジェクト実現等に向けて交流や議論を深め、海洋深層水を活用した新たな産業等への取り組みの推進を図る。

④実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		28年度	29年度	30年度	31年度(予定)	32年度(予定)
⑤事業費 【単位:円】	(a) 国庫					
	(b) 県費					
	(c) 地方債等					
	(d) 一般財源	9,794,000	6,091,000	5,739,000	6,100,000	5,800,000
	計(a~d)	9,794,000	6,091,000	5,739,000	6,100,000	5,800,000
特定財源名		(a) または (b) の名称			(c) の名称	

年度	実施する具体的な事業の内容
平成30年度	海洋エネルギーをキーワードとした再生可能エネルギー・経済開発・エネルギー教育・環境分野におけるハワイと久米島の共同プロジェクト実現等に向けて、海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップを久米島で開催する。
平成31年度(予定)	海洋エネルギーをキーワードとした再生可能エネルギー・経済開発・エネルギー教育・環境分野におけるハワイと久米島の共同プロジェクト実現等に向けて、海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップがハワイで開催されるため、参加し、交流や議論を深める。
平成32年度(予定)	海洋エネルギーをキーワードとした再生可能エネルギー・経済開発・エネルギー教育・環境分野におけるハワイと久米島の共同プロジェクト実現等に向けて、海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップを久米島で開催する。

成果目標(指標)及び進捗状況		基準値(29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値(37年度)
		海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップ参加者数	120	140	-	-
	目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-

事業成果等
 海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップを行い、再生可能エネルギー・経済開発・エネルギー教育・環境分野における海洋深層水を活用した新たな産業等への取り組みの推進を図る。
 ※海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップ参加者数実績 H28 153人、H29 120人

